

経済学部・経済学研究科

I	研究水準	研究 7-2
II	質の向上度	研究 7-2

I 研究水準（分析項目ごとの水準及び判断理由）

1. 研究活動の状況

期待される水準を大きく上回る

[判断理由]

「研究活動の実施状況」のうち、2つの21世紀COEプログラムの採択、2つの研究センターの活動、さらに、COE・科学研究費補助金・寄付金等の外部資金を活かすことによって、外国人研究者との国際共同研究、論文・著書等の研究業績、学会等での研究報告において顕著な成果を上げたことなどは、優れた成果である。

特に、著書・論文の多くが有力な国際的ジャーナルに発表されており、4年間における一名当たりの著書・論文数は14.8件、論文が引用された件数は728件と高い水準にあり、特筆すべき状況にあるという点で「期待される水準を大きく上回る」と判断される。

以上の点について、経済学部・経済学研究科の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、研究活動の状況は、経済学部・経済学研究科が想定している関係者の「期待される水準を大きく上回る」と判断される。

2. 研究成果の状況

期待される水準を上回る

[判断理由]

「研究成果の状況」について、教員の多くが内外の賞を受賞し、エコノメトリック・ソサエティのフェローに5名の教員が選出されており、さらに平成16年度から平成19年度の国際的論文被引用数でも高得点をマークしているという成果を上げている。これらの状況などは、優れた成果である。

以上の点について、経済学部・経済学研究科の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、研究成果の状況は、経済学部・経済学研究科が想定している関係者の「期待される水準を上回る」と判断される。

II 質の向上度

1. 質の向上度

大きく改善、向上している、または、高い質（水準）を維持している

当該組織から示された事例は2件であり、そのすべてが、「大きく改善、向上している、または、高い質（水準）を維持している」と判断された。